

平成 30 年度 コミュニティ提案型まち活性化事業 活用事業のご紹介

1 はじめに

- 佐久穂町では、コミュニティ団体が主体となり企画実施する、まち活性化事業に対し、補助金を交付しています。
- 平成 30 年度「コミュニティ提案型まち活性化事業補助金」を活用し、コミュニティ団体が提案・実施した、まちの活性化を図る事業の概要を 4 つご紹介いたします。
- 皆さんも様々なコミュニティの一員として、ご自身のこれまでの経験や保有する人脈、蓄積されたノウハウ等をまち活性化のために活かしてみませんか。皆さんのアイデアややる気を実現するための事業の提案をお待ちしています。
- 本内容は、事業実施団体から提出された事業提案書、実績報告書等の内容に基づき総合政策課が作成したものです。

補助金の種類	補助率・限度額・補助回数
(1)チャレンジ部門 (新規設立団体向け) 「何か始めてみよう」という団体の皆さんにまちづくりへの参加のきっかけを得てもらうことが目的です。 新規に団体を設立し、事業を実施する場合は該当し、具体的には申し込み時点から起算して設立 1 年以内の団体を対象とします。	補助率：10/10 以内 限度額：20 万円 補助回数：1 団体 1 回限り
(2)ステップアップ部門 (既存団体向け) すでに活動している団体の皆さんに、さらに力を伸ばしてもらうことが目的です。既存事業の発展や新たな事業の確立等段階的にステップアップするための取組が該当します	補助率：1/2 以内 限度額：20 万円 補助回数：1 事業 3 回まで
(3)集落部門 (区、常会向け) 佐久穂町内の区や常会が、地区の問題点や課題、将来の姿、集落で具体的に取り組むこと等検討し将来計画を策定することが目的です。地区の役員だけでなく、女性や若者を交えての計画策定が該当します。	補助率：10/10 以内 限度額：5 万円 補助回数：1 団体 1 回限り

2-1 事業紹介 (1)

事業名	佐久穂町国際ツーリズム（体験型観光）啓発事業
団体名	S.I.T.E.（サイト）
団体区分	課題テーマ共有コミュニティ
事業区分	チャレンジ部門（新規設立団体向け）

事業目的

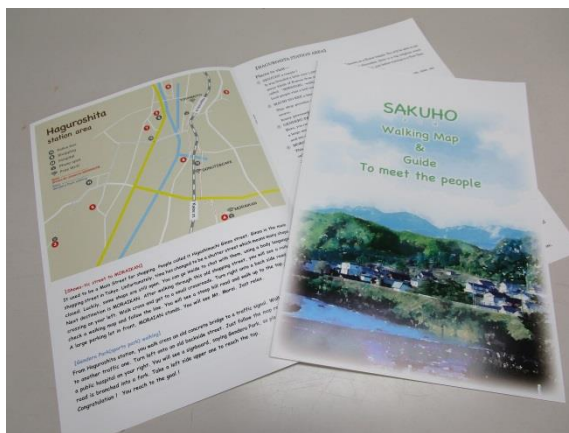
- 外国人観光客に対し、ガイドマップやSNSを通して、きめ細かいサービスを提供する。
- 住民が主体となる体験型観光コースを実現することで町の活性化を図る。

事業内容

- 1年を通じた観光サービスの提供の第1弾として、英語版「街歩きガイドブック」を作成した。
- 庁内調査を行い、八千穂駅、羽黒下駅周辺で歩いて回れるルートを掲載。

事業効果

- 英語版「街歩きガイドブック」を作成することで、佐久穂町に外国人観光客を呼び込む起爆剤になる。近隣市町村では、初めての試みであり、佐久穂町観光の独自性がアピールできた。
- 街歩きガイドブック完成 3,000部



2-2 事業紹介(2)

事業名	四ツ谷エリアまち歩きマップづくり
団体名	四ツ谷まちづくり研究会
団体区分	地域コミュニティ
事業区分	チャレンジ部門 (新規設立団体向け)

事業目的

- まち歩きマップを通して、本地域への来訪者を増やし、その回遊性を高める。
- マップづくりのプロセスを通して、まちづくりに積極的に関わる人口を増やす。
- 上記2点により、本地域の活性化へと繋げる。

事業内容

- 四ツ谷区在住の町民の協働によって、四ツ谷区を対象としたまち歩きマップを作成した。
- 企画内容ワークショップ、まち歩き・現地調査・写真撮影、地域の歴史を知る方に取材等を行い、全23箇所の情報を掲載。

事業効果

- マップづくりを通して、地域の魅力を可視化することが出来た。
- マップ完成 B4サイズ 2,500部



2-3 事業紹介 (1)

事業名	介護予防を地域ぐるみではじめましょう
団体名	宿岩ヘルスの会
団体区分	地域コミュニティ
事業区分	ステップアップ部門 1 回目 (既存団体向け)

事業目的

- 「健康寿命を伸ばそう」この健康認識を地域ぐるみで育てる。
- 健康体操に取り組み、普及に目を向ける。
- 会員のうち 10 名は団塊の世代、地域の介護予防を牽引する人材を育成する。
- ホームエクササイズ推進のため、アイテムの使い方を学ぶ場とする。

事業内容

- 月 1 回専門職の指導者から、筋トレ、ストレッチ、曲に合わせた体操を中心に学び、「マイ体操」を取得し、自分のため、家族・友人・地域に広める。
- 宿岩生活センターを会場にし、地域の方が誘い合い、歩いて行ける利点を生かし活動する。
- 「宿岩ヘルスの会」の会員は 30 名。健康体操を媒体に交流、絆を育て、地域ぐるみの介護予防につなげる。
- 体操の様子をDVD化し、会員以外の地域の皆さんへの運動の普及などにつなげる。

事業効果

- 地域の絆や健康で生活する大切さを学び、介護予防への関心も高まり参加者も定着してきた。
- 体の仕組みや正しい運動の方法等を専門の先生方から学ぶことができた。
- 会員同士和気あいあいと楽しく体操をする場となった。



2-4 事業紹介 (3)

事業名	馬越ふれあいの森管理運営事業
団体名	馬越ふれあいの森
団体区分	地域コミュニティ
事業区分	ステップアップ部門 1 回目 (既存団体向け)

事業目的

- 地域の人たちのいこいの場所、自然観察の場所を提供することで、地域の人たちの交流及び地域の活性化を図る。

事業内容

- 地域住民・団体構成員により 4 月～12 月の間に植物の植付、除草、草刈、歩道の管理補修、栈橋や駐車場の整備等を行い、ふれあいの森の充実を図り継続させる。
- 植物の盗難を防止するため、防犯カメラの設置を行う。

事業効果

- 平成 18 年度事業開始から 12 年を経過していた休憩小屋、東屋、看板等のメンテナンスが出来た。
- 水芭蕉の観察用の栈橋、盗難防止用カメラの設置、駐車場の整備等により、ふれあいの森の充実が図れた。

